

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
22000	X-13-B-3-220005	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
情報と法	須川 賢洋			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択		3年
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択		3年		

授業目的

IT社会、ネットワーク社会に必要な法律や関連制度に関する知識を身に付ける授業。時事問題を中心に解説する。開発業務や情報管理などに携わるようになった時、コンプライアンスを確保するためにはどのようなことに留意しなければならないかを、おぼろげながらもつかめるようになることを目指す。

各回毎の授業内容

第1回

【授】ガイダンス

2019年「10大脅威」の解説(1)

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第2回

【授】2019年「10大脅威」の解説(2)

情報に関する法律の概要

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第3回

【授】サイバー刑法(1)

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第4回

【授】サイバー刑法(2)

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第5回

【授】サイバー刑法(3)

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第6回

【授】不正アクセス禁止法(1)

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第7回

【授】不正アクセス禁止法(2)

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第8回

【授】不正競争防止法と営業秘密の保護(1)

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第9回

【授】不正競争防止法と営業秘密の保護(2)

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第10回

【授】知的財産権法～ネットワークの著作権問題を中心に～(1)

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第11回

【授】知的財産権法～ネットワークの著作権問題を中心に～(2)

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第12回

【授】知的財産権法～ネットワークの著作権問題を中心に～(3)

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第13回

【授】個人情報保護法／プライバシー(1)

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第14回

【授】個人情報保護法／プライバシー(2)

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第15回

【授】その他の情報関連の法律

・プロバイダ責任制限法

・AIと製造物責任法

・電子マネーの法律 など

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

第16回

【授】期末試験

【前・後】4時間をかけて、講義ノートを見直しておくとともに授業中に指示した資料を予習・復習としてチェックしておくこと。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	30	30	30				90
小テスト・授業内レポート	10						10
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

「小テスト・授業内レポート」は「宿題・授業外レポート」に代わることもあり得る。

過去の定期試験や、授業内の小テストの解説を授業中に行う。

教科書参考書

特になし

受講に当たっての留意事項

平日頃から講義に関連する報道番組や、新聞記事、ビジネス雑誌の記事などに目を通しておくこと。

それらの内容も小テストや期末試験の範囲に含めるものとする。

ノートPCやタブレット等の端末を持ち込んで講義を受けることを強く推奨する。

学習到達目標

組織(企業)において、管理部門(事務)の人達と開発部門(技術者)の人達との橋渡しを行うことができる為の最低限の法律知識を習得する。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習